

【予防接種回数と対象年齢】

☆定期予防接種

種類	接種対象者	回数		備考
ロタウイルス (経口接種) ※R2.10月～定期接種へ	生後6～24週 ※R2.8.1以降生まれから対象	2回(1価)		27日以上の間隔をあけて必要回数を接種。 ※標準的には1回目を生後2か月～15週未満までに接種。
	生後6～32週 ※R2.8.1以降生まれから対象	3回(5価)		※計2回は生後24週までに接種完了 ※計3回は生後32週までに接種完了
ヒブ	初回接種が、生後2か月～7か月になる前日まで	4回		27日以上の間隔をあけて3回接種後、7か月以上の間隔をあけて4回目を接種。 ※生後12か月になる前日までに3回目を接種すること
	※生後7か月～1歳になる前日	3回		27日以上の間隔をあけて2回接種後、7か月以上の間隔をあけて3回目を接種 ※生後12か月になる前日までに2回目を接種すること
	※1歳～5歳になる前日	1回		1回の接種で終了
小児用肺炎球菌	初回接種が、生後2か月～7か月になる前日まで	4回		27日以上の間隔をあけて3回接種後、60日以上の間隔をあけて4回目を接種。 ※3回目は生後12か月までに接種し、4回目を生後12か月以降に接種することが望ましい。
	※生後7か月～1歳になる前日	3回		27日以上の間隔をあけて2回接種後、60日以上の間隔をあけて3回目を接種 ※2回目は生後12か月までに接種し、3回目は生後12か月以降に接種することが望ましい。
	※1歳～2歳になる前日	2回		60日以上の間隔をあけて2回目を接種
	※2歳～5歳になる前日	1回		1回の接種で終了
B型肝炎	1歳になる前日まで 標準的には生後2か月～9か月になる前日まで	3回		1回目から27日以上の間隔をおいて2回目を接種 3回目は1回目から20週以上及び2回目から6日以上の間隔をおいて接種
四種混合	生後3か月～7歳6か月になる前日まで	初回	3回	20日以上の間隔をあけて3回接種 標準的には1歳になる前日まで
		追加	1回	初回接種(3回)終了後、12か月以上の間隔をあけて接種 ※急ぐ場合は、6か月以上の間隔で接種可
BCG	1歳になる前日まで 標準的には生後5か月～8か月まで	1回		接種後27日間は他の予防接種を受けられない。
MR (麻しん風しん混合)	1歳～2歳になる前日まで	1期	1回	接種後27日間は他の予防接種を受けられない。 ※2期は5歳で案内(郵送)
	小学校就学前の1年間 (5歳以上7歳未満)	2期	1回	
水痘	1～3歳になる前日まで	2回		6～12か月(最低3か月)以上あけて2回目を接種
日本脳炎	生後6か月～90か月未満 標準的には3歳～4歳未満	1期初回	2回	6～28日(6日以上)の間隔をあけて2回目を接種
	生後6か月～90か月未満 標準的には4歳～5歳未満	1期追加	1回	1期2回目終了後、6か月以上(おおむね1年)の間隔をあけて3回目を接種
	9歳以上13歳未満 標準的には9～10歳未満	2期	1回	
二種混合	11～13歳になる前日まで	1回		※小学校6年生で案内(郵送)

※初回開始が遅くな
ってしまった場合

※初回開始が遅くな
ってしまった場合

☆任意予防接種

おたふく	1歳以上	1～2回		※2回目は5歳以上7歳未満で接種することが望ましい。
インフルエンザ	生後6か月以上	2回(13歳未満)	1回(13歳以上)	13歳未満は2～4週間の間隔をあけて2回接種※中3、高3又はその年齢の方は一部助成あり

【予防接種の接種間隔】

生ワクチン	間隔
MR混合（麻しん風しん混合）、麻しん、風しん、BCG、水痘、 ロタウイルス、おたふくかぜ	27日以上
不活化ワクチン	6日以上
ポリオ、四種混合、二種混合、ヒブ、小児用肺炎球菌、日本脳炎、 B型肝炎、子宮頸がん	

【予防接種と病気の関係】

かかった病気	接種できない期間の目安
麻しん（はしか）、風しん、水ぼうそう、おたふくかぜ等	完全に治ってから 4週間
突発性発疹、手足口病、伝染性紅斑（りんご病）、プール熱、 インフルエンザ、溶連菌感染症、アデノウイルス、ロタウイルス等	完全に治ってから 2週間

※開始時期が遅れてしまった等、わからなくなってしまった際はいつでもご連絡ください。

芽室町子育て支援課子育て支援係 62-9733

